令和７年度分　指定管理者総合モニタリング評価表

施設名称	塩尻市立洗馬児童館		
所在地	塩尻市大字洗馬２７１３番地１		
指定管理者名	社会福祉法人塩尻市社会福祉協議会		
指定期間	令和５年４月１日　～　令和１０年３月３１日　（５年間のうち３年目）		
募集方法	公募	施設担当課	こども教育部　学校教育課

１　業務実績（指定管理者）

当初計画	実　績
１　児童館運営を行うに当たっての経営方針 児童を取り巻く現状を踏まえ、健全な遊びを提供し児童の健全育成を図る。また、児童の安心・安全な居場所づくりとなるよう努力する。 ・夏休みお楽しみゲーム大会　　１回　３５人 ・春休みお楽しみ会　　１回　３５人	１　児童館運営を行うに当たっての経営方針 ・夏休みお楽しみゲーム大会　　１回　４０人 ５年生が実行委員になり、計画・準備と当日の司会等進行を行った。 ・春休みお楽しみ会　　１回　３１人 ６年生への感謝を込めた会になるように、４年生が中心になり、友達と協力し合い準備を進めて実施 ・学年を超えた友達と触れ合う中で、ルールを守る大切さを知り、心身の健康増進に向けた遊びが楽しめる毎日の遊びや生活の環境づくり 〈運動遊び〉ドッジボール・ボール遊び・鬼ごっこ等 〈ゲーム〉ボードゲーム・カードゲーム・ラストワン・マンカラ・野球ゲーム・サッカーゲーム等 〈工作・手芸〉段ボール工作・キラキラ・ミサンガ・アイロンビーズ・マフラー・レジンキーホルダー等
(1)健全な遊びの実施 ・児童の健康増進と創造性を育む取り組み お話会　１２回　４００人 ・季節感のある行事の実施と地域の自然や伝承を知る取り組み 七夕会　　１回　５５人 クリスマス会　１回　６０人 ・施設内外の高齢者との世代間交流 ２回　６０人	(1)健全な遊びの実施 ・お話会　　１１回　３４０人 ・七夕会　　７回　１０６人 ・クリスマス会　　１回　６７人 ・地域の高齢者との交流で歌やダンス・ハンドベル演奏・皿回し・けん玉を披露 クレア洗馬の利用者との交流　１回　４９人 ふれあいセンター洗馬の講座参加者との交流 １回　３９人 手作りのプレゼント―帽子のマグネット
(2)放課後児童クラブ事業等の実施 ・就労等の理由により、保護者が昼間家庭にいない小学１年生から６年生までの児童の安心・安全な居場所づくりと健全育成のための様々な取り組みの実施 ・全児童の居場所対策として、キッズクラブ事業の実施　１０人 ・特性のある講座の実施（福祉教室） ２回　　３５人	(2)放課後児童クラブ事業等の実施 ・保護者との信頼関係を築きながら、安心して預けることができる児童館づくりに努めた。 相談業務　　延べ　２８件 ・キッズクラブ登録児童　７人（４月１日現在） ・小学生向けに、社協の特性を活かした福祉教室を実施し、平和に対する関心を深めたり、相手を思いやる気持ちの大切さを学んだ。　２回　３３人 ・ワークショップ　赤い羽根共同募金箱作り １回　１２人

１ 業務実績（指定管理者）

当初計画	実　績
(3)保護者や地域への関わり ・保護者会組織支援と地域力活用の事業	(3)保護者や地域への関わり ・緊急事態発生時に備え、保護者に迅速な連絡や対応で、H&S(保護者向けアプリ)での配信ができるようにした。
(4)危機管理、安全対策に関する取り組み ・交通安全教室、防犯指導等の実施 ３回　１００人 ・防犯・防災・地震対策のための避難訓練の実施 ２回　８０人	(4)危機管理、安全対策に関する取り組み ・避難訓練（３回　７４人） 〇内容 ふれあいセンター洗馬との合同避難訓練（避難経路確認と災害時における安全な身の守り方）
２ 利用児童に対する配慮、サービス (1)児童の心身の状態を把握し、健康に留意しながら、安心・安全に利用ができるように配慮する。 ・利用者の心身状態の把握 ・虐待等の早期発見	２ 利用児童に対する配慮、サービス (1)児童の心身の状態を把握し、健康に留意しながら、安心・安全に利用ができるように配慮する。 ・感染症予防のため、手洗いの励行、手指消毒、ドアノブ等手を触れる場所の消毒や換気に努めた。 ・子どもの心身状態に変化がある時は、速やかに保護者や学校に連絡し、適切に対応した。
(2)利用児童の満足度を高めるための取り組み ・発達期の子どもの成功体験や自己実現に配慮した取り組み ・利用者の家族や地域のニーズの把握 ・利用児童や保護者の声を聴く意見箱の設置 ・苦情や要望、意見への対応 ・児童館連絡会において、情報交換を行い、ニーズを共有する。 厚生員会　月１回 定例会　月１回 館長・厚生員職員会　週１回 パート職員を含めた職員会　月１回 ・保護者との信頼関係の構築	(2)利用児童の満足度を高めるための取り組み ・生活や活動を通して、集団の中で異年齢の関わりを大切にし、共に成長できるように支援した。 ・興味や関心のあることを更に高められる自学に活用できる図書の購入等、環境づくりをした。 ・保護者向けにアンケートを実施し、出された要望や意見（駐車場渋滞緩和について）に、早急に対応した。 ・苦情には迅速に対応し、問題点は職員間で共有し、改善に努めた。 厚生員会　月１回 定例会　月１回 館長・厚生員職員会　週１回 パート職員を含めた職員会　月１回 ・子どもの様子を保護者の迎えの時に日々伝えることで、保護者が安心して子育てと仕事ができるように支援した。
(3)地域に密着した施設であるための取り組み ・地域に密着した子育て支援の拠点として地域住民に信頼される施設となるように努力する。 ・地域に定着した児童館として公民館主催行事への協力と参加 １回　２０人	(3)地域に密着した施設であるための取り組み ・バレンタインコンサート歌の発表　１２人 ・つどいの広場　１０回　４２組　８９人 ・洗馬地区文化祭への作品展示　９３人
(4)世代間交流に関する事業内容 ・ふれあいセンター洗馬の講座受講者との交流。 ２回　６０人	(4)世代間交流に関する事業内容 ・クレア洗馬の利用者との交流　１回　４９人 ・ふれあいセンター洗馬講座受講者との交流 １回　３９人
(5)個人情報保護について ・本会の規定に基づく個人情報保護を徹底する。	(5)個人情報保護について ・個人情報に関する書類は鍵のかかる場所での管理を徹底した。

１　業務実績（指定管理者）

当初計画	実　績
３　関係機関との連携 （1）学校との連携 ・小学校の先生方との情報共有 ・夏休み期間中校長先生はじめ、担任の先生方の児童館訪問（一人1回） （2）子どもに関わる施設や機関との連携 ・地域が子どもを育む機能に着眼した、地域全体で子育てや親支援ができる体制の構築 学校運営協議会・地域教育協議会・洗馬地区育成会	３　関係機関との連携 （1）学校との連携 ・小学校の先生方の訪問により、児童クラブでの生活の流れや活動の様子について、情報交換ができ児童館での対応の参考になった。 ・学年便りと児童館だよりをその都度交換し、調整や連携を図ることができた。 （2）子どもに関わる施設や機関との連携 ・学校運営協議会（4回）、地域教育協議会（2回）、洗馬地区育成会（1回）に参加し、洗馬地区が目指す望ましい子どもの成長について情報交換することができた。 ・民生児童委員との情報共有を行った。

事業計画の内容、適格性及び実現性

当初計画	実　績
（１）利用者の増加を図るための具体的な手法及び期待される効果 ・魅力ある講座の実施	（１）利用者の増加を図るための具体的な手法及び期待される効果 ・市民タイムス、月刊誌イクジイへの掲載 【内容】 ・地区文化祭への児童工作作品展示　９３人 ・ビーズストラップ製作、マフラー作り、段ボール工作等 ・つどいの広場イベント１０回　親子４２組８９人
（２）サービス向上を図るための具体的手法、効果 ・魅力ある講座の実施 ・ボランティアの受入れ　　２回　５人 ・職員の職場外、職場内研修の参加	（２）サービス向上を図るための具体的手法、効果 ・西部中ボランティア委員会との直接の交流は実施できなかったが、委員会からプランターの鉢植えのプレゼントをいただき、児童館で毎日の水やりなどして、大切に育てた。 ・普通救命研修（AED含む） ・工作研修　　（２回） ・他児童館の見学研修　　（２回）

２　施設の利用状況（指定管理者）

利用区分等	利用目標	今年度実績（ア）	前年度実績（イ）	対前年（ア）／（イ）
開館日数	286日	286日	289日	99.0%
施設利用者数　合計	13,420人	13,048人	14,494人	90.0%
児童館	400人	257人	468人	55.0%
児童クラブ	13,000人	12,704人	13,928人	91.0%
つどいの広場	20人	87人	98人	89.0%

３ 利用目標の達成状況に対する評価・分析（指定管理者、施設担当課）

指定管理者の 評価・分析	児童クラブ利用数は全体的に減少しているが自由来館の利用割合が多かった。
施設担当の 評価・分析	「児童館」「児童クラブ」「つどいの広場」すべての区分で利用実績が前年度に比べ減少しているが、令和７年度においては全市的にみられる傾向であることから、洗馬児童館での取り組みの不足によるものではなく、社会的な需要の変化に起因するものと考えられる。

4 収支状況(指定管理者)

（単位：円）

	項　目	当初計画	実績（ア）	前年度実績（イ）	対前年（ア）／（イ）
収入	・指定管理料	12,973,000	12,709,700	12,770,200	99.5%
	・児童館利用料	847,000	1,169,800	1,179,000	99.2%
	・雑収入	0	0	36,800	皆減
	・拠点区分間繰入金収入	1,352,000	0	0	0.0%
	収入計（A）	15,172,000	13,879,500	13,986,000	99.2%
支出	・人件費	12,692,000	12,748,801	11,780,524	108.2%
	・保健衛生費	25,000	23,757	23,830	99.7%
	・水道光熱費	420,000	342,045	368,141	92.9%
	・燃料費	204,000	203,366	205,332	99.0%
	・消耗器具備品費	341,000	341,707	346,547	98.6%
	・保険料	60,000	45,460	41,460	109.6%
	・車輌費	11,000	0	0	0.0%
	・諸謝金	33,000	32,000	32,000	100.0%
	・研修研究費	4,000	0	2,000	皆減
	・修繕費	320,000	36,300	119,295	30.4%
	・通信運搬費	132,000	160,405	135,400	118.5%
	・会議費	10,000	0	1,000	皆減
	・業務委託費	493,000	487,901	497,853	98.0%
	・手数料	89,000	94,204	97,258	96.9%
	・賃借料	110,000	139,186	128,103	108.7%
	・保守料	240,000	198,000	220,550	89.8%
	・雑支出（退職年金事務費）	4,000	3,504	3,204	109.4%
	・器具及び備品取得	0	0	0	0.0%
	・退職手当、年金共済掛け金	177,000	122,808	112,827	108.8%
	・事務経費	1,017,000	1,016,776	1,021,616	99.5%
	支出計（B）	16,382,000	15,996,220	15,136,940	105.7%
	収支（A）－（B）	△ 1,210,000	△ 2,116,720	△ 1,150,940	－

5 財務状況を示す指標（指定管理者）

指　標		当年度	前年度
自己資本比率	(資本/資産×100)	81.3%	82.8%
負債比率	((流動負債＋固定負債)/資本×100)	23.1%	20.8%
固定比率	(固定資産/資本×100)	100.4%	95.0%
流動比率	(流動資産/流動負債×100)	403.3%	516.2%
総資産経常比率	(経常利益/総資産×100)	-0.3%	1.2%

６ 職員の配置状況（指定管理者）

当初配置計画	配置実績
館長　１（嘱託） 児童館職員　７　（嘱託２・パート５）	館長　１（嘱託） 児童館職員 ８　　（嘱託２・パート６　）

７ 自主事業の状況（指定管理者）

当初計画	実　績
ふれあいセンター洗馬祭りへの参加　　３０人	ふれあいセンターフェスティバル 児童館担当コーナー（フラバン）

８ 評価（指定管理者、施設担当課）

評価点は５段階としており、仕様書・事業計画等に対する達成度から判断します。
例えば、計画どおりの達成度であれば評価点は「３」となります。
評価項目の性質で、付けることができる評価点が制限されている項目があります。

評価点	達成度
５	120 % 以上
４	101 ～ 119 %
３	81 ～ 100 %
２	61 ～ 80 %
１	0 ～ 60 %

（１）実施体制に関する評価

評価項目	No.	評価基準	評価点									
			指定管理者					施設担当課				
施設運営状況	1	協定書等に従い、開館日や開館時間等を遵守しているか	1	－	③	－	－	1	－	③	－	－
	2	施設の目的が十分機能しているか	1	2	③	4	5	1	2	3	④	5
	3	施設の利用者数や稼働率は適正か	1	2	3	4	⑤	1	2	3	④	5
危機管理体制	4	避難経路が適切に確保されている等、利用者の安全が確保されているか	1	2	③	4	5	1	2	③	4	5
	5	危機管理に関するマニュアル等が整備され定期的に訓練等を行っているか	1	2	③	4	5	1	2	③	4	5
	6	事故・災害等の緊急時の連絡体制は確立されているか	1	2	③	－	－	1	2	③	－	－
職員体制	7	仕様書等に従った人員（人数、有資格者）を配置しているか	1	－	③	－	－	1	－	③	－	－
	8	スタッフのシフトは適正であるか（労働基準法を遵守しているか）	1	2	③	4	5	1	2	③	4	5
	9	事業計画書に則した教育・研修を実施したか	1	2	③	4	5	1	2	③	4	5
記録・情報管理体制	10	業務日誌等を適切に作成・保管しているか	1	2	③	－	－	1	2	③	－	－
	11	協定書等で定められた事業計画書・報告書等を提出しているか	1	－	③	－	－	1	－	③	－	－
	12	情報公開に関する規定が整備されているか	1	－	③	－	－	1	－	③	－	－
	13	協定書等に従い、情報を適切に管理、公表しているか	1	－	③	－	－	1	－	③	－	－
	14	個人情報保護に関する規定が整備されているか	1	－	③	－	－	1	－	③	－	－
	15	個人情報等の管理は適切か	1	2	③	－	－	1	2	③	－	－
	16	情報漏えいを防止する仕組みや対応策が講じられているか	1	2	③	－	－	1	2	③	－	－
（１）評価点合計（16項目）			50					50				

（２）収支等の評価

評価項目	No.	評価基準	評価点									
			指定管理者					施設担当課				
経理状況	17	指定管理に関する経費と団体の経費を区別して、適正に管理しているか	1	2	③	－	－	1	2	③	－	－
	18	専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理処理を行っているか	1	2	③	－	－	1	2	③	－	－
	19	収支計画書に則し、適正に予算を執行しているか	1	2	③	－	－	1	2	③	－	－
	20	利用料収入などの現金管理等が適切に実施されているか	1	－	③	－	－	1	－	③	－	－
収支状況	21	事業収支は妥当か	①	2	3	4	5	1	2	③	4	5
	22	財務状況を示す指標の異常値、大幅な変動がないか	1	2	③	4	5	1	2	③	4	5
	23	計画どおりに経費節減の取り組みを行い、その効果があったか	1	2	③	4	5	1	2	③	4	5
	24	計画以外に経費節減に向けた取り組みを行い、その効果があったか	1	2	③	4	5	1	2	③	4	5
（２）評価点合計（8項目）			22					24				

（３）サービス等の内容や水準に関する評価

評価項目	No.	評価基準	評価点									
			指定管理者					施設担当課				
利用者へのサービスの状況	25	施設の予約や利用等が、公平かつ適切に実施されているか	1	2	③	4	5	1	2	③	4	5
	26	言葉づかい、態度、服装等の接遇は適切か	1	2	③	4	5	1	2	③	4	5
	27	利用者アンケートを実施し、その結果は妥当か	1	2	③	－	－	1	2	③	－	－
	28	利用者からの意見や要望等について、可能なものは反映させているか	1	2	3	④	5	1	2	3	④	5
	29	苦情や要望等に対して迅速かつ適切に対応しているか	1	2	③	4	5	1	2	③	4	5
	30	施設のホームページは効果的に運用されているか	1	2	③	4	5	1	2	③	4	5
	31	利用方法をわかりやすく説明できる仕組みができているか	1	2	③	4	5	1	2	③	4	5
事業の実施状況	32	事業計画書に則し、指定管理事業を実施しているか	1	2	③	4	5	1	2	③	4	5
	33	施設の目的に沿って、自主事業を実施しているか	1	2	3	④	5	1	2	③	4	5
	34	各事業への参加や施設利用促進に向けた取り組みを積極的に行っているか	1	2	3	④	5	1	2	3	④	5
維持管理状況	35	仕様書等に従い、清掃、警備、衛生の点検・管理を適切に行っているか	1	2	③	4	5	1	2	③	4	5
	36	施設や設備の点検・管理を適切に行い、履歴を適切に整理・保管しているか	1	2	③	4	5	1	2	③	4	5
	37	必要な修繕を適切に行い、市に報告しているか	1	2	③	－	－	1	2	③	－	－
	38	市と指定管理者の備品が明確に区別されており、台帳により適切に管理されているか	1	2	③	－	－	1	2	③	－	－
	39	外部委託内容は事前に市の承認を受けており、委託先に協定書等を遵守させているか	1	－	③	－	－	1	－	③	－	－
	40	省エネルギー、省資源等環境への配慮がされているか	1	2	③	4	5	1	2	③	4	5
（３）評価点合計（16項目）			51					50				

※No.39は外部委託がある場合のみ評価する。

（評価点の総計）

評価点総計（満点164点）	指定管理者	123点	75.0%	施設担当課	124点	75.6%

８（総括）評価に対する考え方（指定管理者、施設担当課）

評価項目	評価項目No.とその評価点を付けた理由			
	No.	指定管理者	No.	施設担当課
（１） 実施体制	2	小学校や市こども未来課と連携を取り合うことができた。豊かな子どもの育ちに向け様々な意見を聞き、相談できる場所を重要とし保護者への支援に努めた。	2	市こども未来課や小学校、地域との連携体制を構築し、子どもの適切な支援が図られている。
	4	ふれあいセンター洗馬との合同避難訓練や、交通安全上、小学校から児童館までの危険個所について安全確保に努めた。	3	利用者数は年度目標を達成していないものの、社会的な変化による部分が大きい。利用規模に対する適正な人員が配置され、適切に運営できている。
	7	児童の様子を共有し合う常勤職員会は毎週行い、パート職員を含めた全職員での職員会は毎月１回設けるなど、児童の育成支援に努めてきた。	5	避難訓練を年３回（うち、ふれあいセンターとの合同訓練１回）実施し、交通安全指導を随時実施するなど、利用者の安全を確保する事業が実施されている。
（２） 収支等の評価	21	収支計画書に即し、予算の適正な執行に努めたが、人件費の増加により収支状況が悪化している。	19	通信運搬費や賃借料等で計画額を上回る支出が見られるが、必要な範囲での適正な予算執行と認められる。
	23	感染症や熱中症予防のため、換気をしながら暖房やエアコンを使用しているため、光熱費の節約は難しい。	23	水道光熱費は当初予算に対して縮減されていることから、経費節減の意識をもった取り組みの成果が認められる。
（３） サービス等の内容や水準	28	利用者からの意見や要望は、職員間で共有・検討し、速やかな対応をした。子育てに関する相談にも保護者の立場に立ち、丁寧に応じるように心がけてきた。	28	利用者からの意見や要望を聴取し、速やかに対応した実績が認められる。
	33	社会福祉士による子ども福祉教室を年２回実施し、社協としての特性を活かした取り組みにより、平和に対する関心や、相手を思いやる気持ちの大切さを学んだ。	33	施設の特性を活かした事業が展開されている点は評価できる一方、自主事業に位置付けられている事業についてはふれあいセンターが主体の事業である。
	34	高齢者との交流は例年の行事として位置づけることができ、地域の高齢者の方たちが、喜んでくださっている姿に触れ、子どもたちも達成感と温かな気持ちを持つことができた。	34	地域福祉活動の推進拠点施設との複合施設という特性を活かし、異世代間の交流事業に積極的に参加している。

９ 総合評価（指定管理者、施設担当課）

<table>
<tr><td rowspan="6">指定管理者</td><td>■自己評価</td></tr>
<tr><td>・保護者や子どもたちにとって家庭と小学校を繋ぐ安心・安全に生活できる居場所になることや児童の自立支援を目指している。
・保護者からの相談や児童館での姿から気になることは、小学校に情報を伝え連携を取り合うことができた。
・年々職員の確保が厳しくなっている中で、子どもたちが安心して過ごせるよう適切な施設運営に努めている。</td></tr>
<tr><td>■今後の改善策（短期的に取り組むことで課題解決を図るもの）</td></tr>
<tr><td>・子ども福祉教室や高齢者との交流など、社協としての特性を活かし、思いやりある心を培うことのできる活動は、今後も継続していきたい。
・市担当課と連携して専門職員の確保に努めていく。</td></tr>
<tr><td>■今後の改善策（長期的に取り組むことで課題解決を図るもの）</td></tr>
<tr><td>・午前中の児童館の施設開放をPRし、子育て中の家庭が交流でき地域の子育ての拠点としての役割を果たせるようにする。また、子どもの心身を育成し情操を豊かにする。
・指定管理の目的に合った運営体制のあり方を検討し見直しに取り組む。</td></tr>
<tr><td>施設担当課</td><td>　社会福祉協議会という組織的な特性や、地域福祉の推進拠点施設との複合施設というハード面の特徴を活かし、子どもたちの主体性・協調性を育む事業を積極的に行っている。
　また、学校や地域との連携を図り、必要に応じた子どもの支援体制の構築に努めている。
　職員確保に苦慮しているとのことだが、引き続き適正な人員配置に努めながら、子どもたちの健全育成を目指した児童館の運営を進めていただきたい。</td></tr>
</table>